

# 市議会だより

東松島市  
第79号

令和8年2月1日発行



道の駅 東松島が開業1周年を迎えました。(令和7年11月27日、道の駅 東松島)

- 東松島市一般会計補正予算ほか23件  
を原案のとおり可決 P 2～4
- 一般質問～15人が市政をたずね～  
P 5～12
- 議員報酬、議会活動報告 P 13
- 会派視察報告 P 14～15



脱炭素先行地域

東松島市は、環境省「第1回  
脱炭素先行地域」に選定され  
ました。



東松島市は、政府から「SDGs未来  
都市」に選定されています。



議会映像は  
ここから  
チェック！



編集／議会広報常任委員会  
発行／宮城県東松島市議会



住み続けられ持続・

発展するまちに

東松島市議会議長 石森 晃寿

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望あふれる新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より市議会活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

本市では、昨年4月に市制施行20周年という大きな節目の年を迎えた一年でした。

平成17年から今日に至るまで、私たちは様々な課題に挑み、特に東日本大震災という大きな試練を乗り越え、復興と発展の道を進んでこられたのは、ひとえに市民の皆様のご熱意とご協力の賜物であり、心より敬意を表する次第でございます。

本年も、市政の発展と市民の皆様の幸せを第一に考え、「東松島市に住んで良かった」と心から思えるよう、市と議会が、車の両輪として一丸となり、力強く市政を推進してまいります。

今年の干支は、丙午（ひのえうま）です。市議会も、躍動し、前進し続ける「住み続けられ持続・発展する東松島市」誇れるまち、選ばれるまち、東松島プライド」の実現を目指し、市民の皆様の負託に応えるべく、全身全霊で臨む所存です。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

## 賛否が分かれた議案及び請願

議案第49号 東松島市まちづくり基金条例を廃止する条例について

賛成(○)：14人 反対(×)：1人

千葉 修一	渡邊 克己	阿部 秀太	福田 敬一	熱海 千鶴	千葉 信哉	井出 方明	佐藤 雄則	浅野 直美	齋藤 徹	土井 光正	櫻井 政文	大橋 博之	五野井敏夫	長谷川 博
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※石森晃寿議長は採決に入りません。

請願第1号 他集落と隔絶した条件の集落に対するスクールバスの弾力的利用に関する請願書

賛成(○)：2人 反対(×)：13人

千葉 修一	渡邊 克己	阿部 秀太	福田 敬一	熱海 千鶴	千葉 信哉	井出 方明	佐藤 雄則	浅野 直美	齋藤 徹	土井 光正	櫻井 政文	大橋 博之	五野井敏夫	長谷川 博
×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×

※石森晃寿議長は採決に入りません。

## 令和7年 第4回定例会

令和7年第4回定例会は、12月9日から12月22日までの14日間の会期で行いました。

補正予算、指定管理者の指定等の審議が行われ、23件が原案のとおり可決しました。

### ●議案等の上程件数 24件

#### <内訳>

補正予算	10件
指定管理	1件
条例	7件
請願	1件
その他	5件



議会に上程された全ての議案の議決結果については、市議会HPに掲載しております。



# 各分野ごとに議員が審査した内容はこちら

## ※民生教育常任委員会※

### 議案第46号

東松島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていないこどもが、保護者の就労要件を問わず、月の一定時間までの利用可能枠の中で保育所等を柔軟に利用できる新たな通園制度となる乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が令和8年度から全国の自治体で実施されるため、それに伴い、児童1人当たりの必要な面積や職員の配置基準、それから安全計画の策定、職員の知識向上、研修機会の確保等、主に設備及び運営に関する基準を定めるものです。

### 議案第47号

東松島市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について

国においては、乳児等通園支援事業に対応した新たな給付制度として「乳児等のための支援給付」を創設することとしています。事業の実施者は、運営に関する基準を満たす必要があり、その確認を市町村が行うため、国の定める基準に従い、新たに制定するものです。

**問** 従来の一時預かり事業とこども誰でも通園制度で支援の内容に変化はあるか。

**答** 利用制度が切り替わることにより支援の内容が大きく変わること、担当する保育者が変わることで等は望ましいことではなく、子供の育ちを支える視点から、利用制度が切り替わったとしても一貫した支援を提供できるよう心がける必要があるため、違いが生じるということは基本的にはない。

### 民生教育常任委員会委員長報告

保育人材の確保や安全管理体制、利用者ニーズへの対応、事業実施に伴う現場負担などについての意見があり、乳児期からの切れ目のない子育て支援の充実を図る上で、本条例の制定は妥当であると判断し、原案可決すべきものと審査しました。



委員長報告を行う  
浅野民生教育常任委員長

## ※総務産業建設常任委員会※

### 議案第50号

東松島市第3次総合計画基本構想について

震災復興の総仕上げと地方創生の推進を柱とした東松島市第2次総合計画が今年度末で終了するため、引き続き持続可能な東松島市を築いていくための新たな指針として、令和8年度から令和17年度までを計画期間とする「第3次総合計画」を策定するにあたり、本市の将来像やまちづくりの理念を示す最上位の指針である基本構想を策定するものです。

**問** 第2次基本計画後に認定、選定をうけたものは第3次基本計画のどこに反映されるか。

**答** 観光分野についてはまちづくりの方向性1「地域の資源を生かした持続可能な観光の振興」、UPZ関係については、まちづくりの方向性5「持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち」に反映する。

### 総務産業建設常任委員会委員長報告

第3次基本計画の基本構想として、喫緊の課題である人口減少対策を重点プロジェクトの4本柱に位置づけるとともに、市に愛着を持つ市民が大多数であることをサブタイトルの「東松島プライド」に反映させていることなどを確認し、原案可決すべきものと審査しました。



委員長報告を行う  
千葉総務産業建設常任委員長

# 市内施設の指定管理者を指定

市内の施設の指定管理に関する議案については、施設の分野ごとに委員会に付託されます。担当委員会で審査を行った結果、原案のとおり可決されました。審査の内容の一部をお知らせします。

## 指定管理制度とは？

地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社を始めとする営利団体・財団法人・NPO法人・市民グループなどに包括的に代行させることのできる制度です。



## 東松島市奥松島観光物産交流センター 指定管理者を貴凜庁株式会社に決定

総務産業建設常任委員会付託審査

令和6年4月から令和8年3月まで、貴凜庁株式会社と協定を締結している東松島市奥松島観光物産交流センターについて、来年度からの4年間の指定管理者の指定に関する審査を行いました。審査では、市直営管理と指定管理した場合の経費の比較、指定管理者の公募方法等、選定委員会での審査内容について執行部から聞き取りを行いました。

次期指定管理期間中に提案された事業計画を確実に実行していくことを望む、また、応募が1者のみであったことを鑑み、参加意欲を高める工夫や募集期間の延長を考慮すべきとの意見がありました。以上を踏まえ、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 可決した議案



### 12月定例会

### 可決議案

- 承認第 3 号 専決処分した事件（令和7年度東松島市一般会計補正予算（第3号））の承認について
- 議案第 4 6 号 東松島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
- 議案第 4 7 号 東松島市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について
- 議案第 4 8 号 東松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について
- 議案第 4 9 号 東松島市まちづくり基金条例を廃止する条例について
- 議案第 5 0 号 東松島市第3次総合計画基本構想について
- 議案第 5 1 号 東松島市過疎地域持続発展計画（後期期間）の策定について
- 議案第 5 2 号 東松島市奥松島観光物産交流センターの指定管理者の指定について
- 議案第 5 3 号 宮城県市町村職員退職手当組合理約の変更について
- 議案第 5 4 号 市道路線（百合子線外1）の廃止及び認定について
- 議案第 5 5 号 令和7年度東松島市一般会計補正予算（第4号）について
- 議案第 5 6 号 令和7年度東松島市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第 5 7 号 令和7年度東松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第 5 8 号 令和7年度東松島市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第 5 9 号 令和7年度東松島市下水道事業会計補正予算（第2号）について
- 議案第 6 0 号 東松島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について
- 議案第 6 1 号 東松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 6 2 号 東松島市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について
- 議案第 6 3 号 令和7年度東松島市一般会計補正予算（第5号）について
- 議案第 6 4 号 令和7年度東松島市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
- 議案第 6 5 号 令和7年度東松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について
- 議案第 6 6 号 令和7年度東松島市介護保険特別会計補正予算（第4号）について
- 議案第 6 7 号 令和7年度東松島市下水道事業会計補正予算（第3号）について

# 15議員が 市政をたずねる

## 東松島市第2次総合計画後期基本計画まちづくりの方向性別目次

1 産業と活力のある住みたくなるまち		災害時の独居老人等の対応を問う	櫻井 政文 P12
産業祭の評価と今後の産業振興について	佐藤 雄則 P 6	重点支援地方交付金について	櫻井 政文 P12
道の駅「東松島」を核とした農業・漁業の振興について	佐藤 雄則 P 6	3 次世代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち	
大型獣から市民を守る万全の対策を	齋藤 徹 P 7	部活動の地域展開について	福田 敬一 P 5
増え続けるクマ出没の対策を急げ	土井 光正 P 8	給食費の無償化について	福田 敬一 P 5
観光振興施策について	井出 方明 P 8	市内中学校等の音楽祭開催と文化部活動の地域移行について	佐藤 雄則 P 6
のびる洲崎湿地を活用しての観光振興について	渡邊 克己 P 9	地域防災の次世代育成に向けた学校連携の強化について	浅野 直美 P 7
宮戸から野蒜駅間の交通環境の整備について	渡邊 克己 P 9	小中学校の飲料水について	千葉 信哉 P 9
東松島周遊タクシー「ぐるっと号」の試験運行と松島からの観光客誘致について	熱海 千鶴 P11	4 災害に強く安全で快適で美しいまち	
まちづくりの施策について	阿部 秀太 P11	赤井地区の整備事業について	千葉 修一 P 6
クマ対策について	五野井敏夫 P12	道路整備等の完了に伴う関係道路の安全対策等について	土井 光正 P 8
高市首相と女性活躍推進について	櫻井 政文 P12	移転元地活用について	渡邊 克己 P 9
2 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち		消防団防火服の更新について	千葉 信哉 P 9
人口減少対策について	千葉 修一 P 6	JR矢本駅について	千葉 信哉 P 9
小児医療の持続的維持と県市連携強化について	浅野 直美 P 7	人口減少社会における「選ばれるまち」の住宅地整備について	阿部 秀太 P11
物価高騰対策をどのように講じるのか	土井 光正 P 8	市街化区域拡大に伴う諸問題について	五野井敏夫 P12
生活保護の申請について	長谷川 博 P10	5 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち	
高齢者の聴力・聞こえの支援について	長谷川 博 P10	NFT等デジタル技術による地域活性化策について	浅野 直美 P 7
健康増進の取組を強化せよ	大橋 博之 P10	自衛隊松島基地との共存共栄及び連携について	井出 方明 P 8
乳がん患者への助成拡充について	熱海 千鶴 P11	ふるさと納税について	井出 方明 P 8
東松島市におけるLGBTQの理解に関する取組について	熱海 千鶴 P11	3 世代世帯への支援を考えるべき	大橋 博之 P10
保育所の民営化について	阿部 秀太 P11	※質問した議員は責任をもって原稿を作成しています。	

問 2件目 令和8年度給食費予

答 小学校2年生の保護者・生徒に今年度中に実施する。

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 ケート等について。

答 小学校4年生から中

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国

問 完全無償化のため国

答 完全無償化のため国



## 問 道の駅、出荷手数料減額について

答 市内生産者の減額を協議検討する



佐藤 雄則 議員

- 1 件目 産業祭の評価と今後の産業振興について  
2 件目 道の駅「東松島」を核とした農業・漁業の振興について  
3 件目 市内中学校等の音楽祭開催と文化部活動の地域移行について



▲市内生産者の利用料減額を検討する

1 件目 問 入場者数を踏まえた産業祭の評価について。  
答 約6千5百人の来場者があり、本市基幹産業の農水産業はじめ、商業、観光業を広くPRすることによって消費者への認知

度、生産者の意欲向上、地域経済の活性化を図る目的は達成できた。  
問 産業祭を機とした今後の農業振興策はいかに。  
答 圃場整備事業促進、施設園芸、機械導入支援、地域営農の担い手確保のための新規就農者支援など一次産業振興に努める。

2 件目 問 道の駅が開業一周年を迎えたが来場者数、売

上目標と実績及び全販売額に対して本市産商品販売額の割合について。  
答 来場者数は約86万5千人、売上目標は6億7千万円、実績は約8億3千万円で1億6千万円上回った。本市産商品販売額は約2億円、31%の割合となっている。

問 市内生産者への出荷手数料減額について。  
答 市内生産者の利用料金減額は、出荷意欲向上や地元農産物出荷拡大にも有効な方策。指定管理者と協議検討する。

3 件目 問 文化部活動の地域展開について。  
答 休日における部活動の地域展開は、令和10年度を目標とし、令和13年度までを平日の地域展開を推進する期間と設定している。吹奏楽に係る人材、一般吹奏楽団など地域の方々と進めていく。

## 問 人口減少対策について

答 人口推移及び人口増減要因の観点から分析を行う



千葉 修一 議員

- 1 件目 人口減少対策について  
2 件目 赤井地区の整備事業について



▲市道川前線と市道小松・赤井線の改良工事

1 件目 問 人口減少対策について。  
答 人口減少の将来傾向については、人口戦略会議が最新の分析を発表しており、直近の出生数・死亡数・転入転出の状況についての分析及び数値目標については、現在策定中の東松島市第3次総合計画における人口ビジョンの中で、人口推移及び人口増減要因の観点から分析を行うとともに、その分析結果を踏まえ、出生数や社会増減数についても明確な数値を設定していく。定住の促進や移住者向け支援として市街化区域の拡大や定住化促進事業補助金・好きです東松島おかえり事業助

成金・空き家バンク補助金など経済的負担を軽減する取組を実施している。  
2 件目 問 赤井地区の整備事業について。  
答 市道川前線と市道小松・赤井線の交差点改良について、現在は、社会资本整備総合交付金事業による整備を行うため、宮城県を通じて国に概略設計を基に予算要求を行っており、令和8年度予算に実施設計に係る予

算を計上したいと考えている。それに伴い、商業施設側の歩道整備も交差点改良事業として行っていく。市道川前三2号線と市道小松・赤井線の交差点改良工事は、令和8年3月に完成・供用の予定である。市道小松・赤井線の排水側溝の勾配の原因は、生活排水が主な原因と考えられるので、公共下水道への接続等について、沿線住民に啓発していく。

## 問 大型獣から市民を守る対策を

答 様々な対策で万全の体制をつくる



齋藤 徹 議員

1件目

**問** 消防団による夜間の山際でのパトロールを実施してはどうか。

**答** ゾーニングや警戒パトロールは有効と考える。消防団幹部とも協議する。

**問** 里山管理の考えをどのように進めていくのか。

**答** 前回も答弁しているが、県内で罰則を含む条例を制定している市町村はない。罰則規定のある県条例があることから、

ことが重要。地域ごとの検討会、勉強会を今後広めていきたいと考える。

**問** 鋭い嗅覚を持つ野生動物の人里への誘引防止のため、野良猫等への餌付け行為（生ゴミの散布）を市民の生命を守る観点から禁止、罰則含む条例を制定してはどうか。

**答** 前回も答弁しているが、県内で罰則を含む条例を制定している市町村はない。罰則規定のある県条例があることから、



▲本市は万全の体制で市民の安全を守ります

**問** 駆除等の措置実施後のクレームに対しては、毅然とした対応を。

**答** 丁寧な説明で理解を求めていくが、過度なクレームには、円滑な業務遂行のため、毅然とした対応で臨んでいく考えである。



## 問 安心を守る小児医療の体制強化を

答 広域連携も含め体制維持に努める



浅野 直美 議員

1件目

**問** 小児科医師の不足等複数の課題を抱える小児医療であるが、切れ目のない体制は必要不可欠。専門医配置と週5日診療を継続できるよう県に財政支援策を要望すべき。

**答** 小児科医師確保や地域医療体制維持は重要な課題であり、県独自の財政支援を要望している。既に本市独自の支援策で子育て環境の安心に繋がってはいるが、人的支援や恒久的な財政支援策を県を通じて国に働きかけ

**問** NFT等デジタル技術を活用し、市民の生活が豊かになる地域活性化策を効果的に導入すべき。

2件目

**問** NFT等デジタル技術を活用し、市民の生活が豊かになる地域活性化策を効果的に導入すべき。

- 1件目 小児医療の持続的維持と県市連携強化について
- 2件目 NFT等デジタル技術による地域活性化策について
- 3件目 地域防災の次世代育成に向けた学校連携の強化について



▲地域医療を守り、市民の健康と生命を守る



▲地域防災、若い力で地域の手助けを



**答** 全国の自治体において施策の広がりは承知しており、デジタル住民票NFT等で関係人口創出・拡大、知名度向上等の成果を新たな手段として注視している。県のポケットサインとの連携も含め地域活性化策に繋がるデジタル技術の可能性と活用を研究していく。

3件目

**問** 地域防災を支える次世代の育成が課題である。

有事の際には高齢者を助け、地域の力となるよう小中学生の防災訓練への積極的な参加と地域と共に実践的な防災教育を。

**答** 総合防災訓練時には、自主防災組織への参画意識向上のためさまざまな取組を行っている。今後地域全体の防災意識向上のため、自主防災組織と小中学校の連携について運用体制を構築していく。



## 問 本市独自の物価高対策を迅速に

答 国の交付金を活用し早急に実施



土井 光正 議員

1件目

問 国の重点支援交付金の本市の活用内容は。

答 子育て応援手当へ5千円上乗せしての2万5千円の支給や非課税世帯への灯油購入費助成、ひがしまつしま3割増商品券を従来の2万セットか

- 1 件目 物価高騰対策をどのように講じるのか
- 2 件目 増え続けるクマ出没の対策を急げ
- 3 件目 道路整備等の完了に伴う関係道路の安全対策等について

### 重点支援地方交付金の活用

- ・ 子育て応援手当の上乗せ支給
- ・ 非課税世帯への灯油購入費助成
- ・ 3割増し商品券の発行
- ・ 事業者支援
- ・ 水道料金の基本料金減免

などを検討していく

▲重点支援地方交付金を活用した実施事業

ら3万セットに引き上げて販売の支援を検討する。

問 交付金を利用した水道基本料金の支援は。

答 全ての市民に共通する生活基盤であり、有効な物価高対策と認識している。水道企業団及び石巻市と協議し判断する。

2件目

問 改正鳥獣保護管理法による本市のクマ対策の課題は。

答 駆除の人材不足やク

マの捕獲・駆除に関する専門的な知識と経験不足等、様々な課題がある。

問 広域連携のクマ対策を提言するがいかがか。

答 クマ対策は広域的な捕獲活動が必要であり、宮城県東部振興事務所等にガバメントハンターを配置するよう要望する。

問 通学路上のクマ出没状況により、臨時的なスクールバス利用の要望があるが教育長の考えは。

答 自宅からバス停までの安全性等を考慮し、総合的に判断していきたい。

3件目

問 赤井川前三2号道路が3月に完成するが南新町方向への抜け道となる懸念がある。団地内の交通安全対策は。

答 交通動向を引き続き注視し石巻警察署と連携して交通安全対策に努める。

## 問 松島基地との共存共栄及び連携

答 基地に協力し交付金を活用する



井出 方明 議員

1件目

問 F-35が時折飛来するようになりF-2等比べて騒音が大きく感じられる。騒音の状況及び対策について伺う。

答 代替飛行場の慣熟は戦闘機操縦者にとって必要な訓練である。F-35に特化して騒音測定は実施していないが、飛来した時間の記録を確認すると、国の環境基準を2箇所5回上回った状況である。今後はこれらの状況を9条交付金の増額要望に活用していく。

問 道の駅東松島にブルーインパルスの機体、どのように設置するのか。

答 一般に対するアンケート結果を踏まえ、北東方向に機首を向けた形で

- 1 件目 自衛隊松島基地との共存共栄及び連携について
- 2 件目 観光振興施策について
- 3 件目 ふるさと納税について



▲代替飛行場慣熟訓練で飛来した三沢基地のF-35 戦闘機

平置きし、年度内に早ければ2月には設置する。観客の安全と展示機の保護のためバリケードを設置し、操縦席の内部についても、見栄えが良い設置に努力していく。

問 防衛費増加に伴い、基地内施設工事も加速していくと予想される。この工事による本市経済への影響について伺う。

答 工事が施工される際に受注者のJ Vの下請業者として、一定の経済効

果が見込まれる。また、工事業者の宿泊や市内における消費活動が見込まれる。

3件目

問 ふるさと納税の今後の目標と取組を伺う。

答 今年度は、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用したり、11月末で昨年度比3億円の増額である。寄附額のさらなる増額、4年後には7億円を目標とする。



## 問 洲崎湿地を活用しての観光振興は

答 奥松島地域の振興をさらに推進



渡邊 克己 議員

1件目

**問** 湿地は、本市の観光振興（インバウンド観光）に寄与すると考えるが、市長の考えを伺う。

**答** 洲崎湿地を活用したエコツーリズムは本市のさらなるインバウンド観光客の振興に寄与するものと考ええる。

**問** 発足されたのびるウ

- 1件目 のびる洲崎湿地を活用しての観光振興について
- 2件目 移転元地活用について
- 3件目 宮戸から野蒜駅間の交通環境の整備について



▲のびる洲崎湿地の風景

エットランドパーク推進協議会と本市の関係調整は、進め方をどの担当部・課が担うのか。

**答** 担当部署の設置を含め組織体制、連携方針について検討を行う。

**問** 海水の流入か所が水循環が困難な高さにあり、湿地の水質悪化が懸念される。どのような対策を講じるのか。

**答** 宮城県東部土木事務所長へ要望しており、対策については本市と調整しながら検討していくと

2件目

の回答を頂いている。本市としても、水質悪化対策に取り組んでいく。

**問** 野蒜地区移転元地活用について

**答** 未利用地12、6ヘクタールについては、課題も多く非常にハードルが高いため、新たに国・県等の力を借りながら財源確保も含め、抜本的な政策で進めていく必要があると考えている。

3件目

**問** 宮戸から野蒜駅間の交通環境の整備について

**答** 宮城県と本市が連携し「奥松島周遊ぐるっと号」による試験運行を実施した。7日間のうち雨天が2日間、曇りが2日間と天候不良や松島・宮戸間の遊覧船定期航路が全日欠航するなどがあり、28人の方々に乗車いただいたが、採算性に課題が残った。

## 問 消防団防火服の更新について

答 年間50組ずつ更新



千葉 信哉 議員

1件目

**問** 消防団防火服の更新は。

**答** 年間50組ずつ3年間で更新する。

2件目

**問** 小中学校の水道の蛇口に浄水器を取り付けてはどうか。あるいは、ウォーターサーバーの設置を検討してはどうか。

**答** 教育委員会と連携して研究する。

3件目

**問** JR東日本に対する矢本駅の建替要望の現在の状況は。

**答** 10月30日のJR東日本への要望に対し、矢本駅の南北自由通路や駅前広場整備の検討調整状況も踏まえながら調整するとの回答を得た。

- 1件目 消防団防火服の更新について
- 2件目 小中学校の飲料水について
- 3件目 JR矢本駅について



▲消防団員募集中！

**問** 南北通路の実現可能性は。

**答** 令和3年度に積算した総事業費が約30億円、そのうち市負担額が約20億円と見込まれているため、早期整備は保留。

**問** 駅前広場のロータリー整備の進捗状況は。

**答** 工事期間を令和8年3月までとし、10月から着手。現在のロータリーを供用しつつ、拡張するロータリーの南側半分の施工を計画。残る北側半

分は令和8年度に施工予定。

**問** トイレの改修は。

**答** 令和8年度に床面積が3倍となるバリアフリー対応公衆トイレを整備予定。

**問** 駅周辺に公的駐車場を。

**答** 北浦アパート1号館解体工事が、今年度で完了予定なので、その跡地を駐車場として活用し、駅周辺の活性化をはかる。

- 1 件目 生活保護の申請について  
2 件目 高齢者の聴力・聞こえの支援について



▲窓口においてある生活保護申請書

## 問 生活保護申請時の財布確認は問題

答 確認は不適切な行為、自己申告に



長谷川 博 議員

1 件目  
問 本年8月31日の地元新聞に三重県鈴鹿市で生活保護申請の際、財布にある現金を1円単位で確認している等の記事が掲載された。加えて厚労省によると申請時に資産や

収入の報告は求めるが、財布内まで調べる規定はないとも報道された。本市の窓口で相談者に同行した際、同じような経験をしている。実情はどうなっているのか。厚労省の規定通り自己申告制に改めるべきである。

答 保護申請時、資産状況を確認する過程で財布の中身を確認することがあった。正確な事務処理

のためとはいえ、申告者への配慮に欠けた不適切な行為であり、屈辱感を与えてしまったことに心からお詫びする。新聞報道を受け、自己申告による確認に統一した。

### 2 件目

問 加齢による聴力低下に関連し、補聴器購入助成は、東松島市の誇れる施策で市民に大変喜ばれている。この先も助成制度の継続は元より、耐用年数による買い換え、修理・調整など助成の充実を望む。併せて、高齢者の健康診査で聴力測定を行うべきでは。

答 加齢による難聴は避けられず、今後も助成は継続する。買い換えについても5年の耐用年数を迎えるまでに検討する。聴覚検査は、自覚したら早期に医療機関を受診するように周知啓発を行う。

## 問 健康増進の取組を強化せよ

答 利用者が増えるよう支援していく



大橋 博之 議員

1 件目  
問 ミュージックセラピー（音楽療法）の普及に力を入れてはどうか。各種の団体への支援策を検討すべき。

答 音楽に触れることは、高齢者から子どもまで幅広い対象に対し、心肺及び口腔機能の維持向上、情緒の安定や生活の質の向上を期待できるなど、心身の健康増進に効果があるといわれているので、スポーツ事業と社会教育や地域づくりなどの既存事業の中で取り組む。

問 笑うことが心の健康に効果があるという実証実験をふまえ、本市としても事業として採用してはどうか。

答 事業化となると継続

- 1 件目 健康増進の取組を強化せよ  
2 件目 3世代世帯への支援を考えるべき



▲心と体の健康は音楽と笑うことでパワーアップ

するための費用対効果について、健康面での成果を数値化するのには難しい現状である。笑うことが心の健康につながることを意識して、地域での健康教室や保健師の訪問等の普段の活動の機会を通じて「笑うことの効果」を周知していく。

2 件目  
問 3世代世帯への支援を考えるべき。

答 3世代の同居・近居

を推進するのであれば、若者世代が日常生活において、他の居住形態より経済的メリットを得られるよう継続支援を充実させることで、はじめて少子化対策の効果が期待できると考える。3世代同居を促進することは、少子化対策の一助になるものと考えて、現時点において本市独自の手段の創設は、今後の課題として研究する。



## 問 乳がん患者への助成拡充について

答 県内各市の状況を勘案し検討



熱海 千鶴 議員

1件目

**問** 新設された松島海岸と宮戸間を結ぶ定期航路の乗客数について。

**答** 今年度の乗客数は70名。遊覧船が小型なため風と波の影響を受けやすく欠航になりやすいことと案内体制が確立していないことが今後の課題である。

2件目

**問** 乳がん患者への補正具などの助成拡充の考えはあるか。

**答** 本市では、乳がん患者の治療と就労の両立や療養生活の質の向上及び社会復帰の支援を図ることを目的に助成しているが、県内各市の状況を勘案し検討していく。

**問** 乳がん患者同士の交流の場の設置について。

**答** 患者同士の交流の場は孤独感や孤立感を解消するための大きな支えになると認識。ニーズの把握も含め試行的に実施していく。

3件目

**問** 2024年度から小学校の保健体育で使われる教科書で「性の多様性」を取り上げ、LGBTQへの理解が社会全体で深まっているが、市内における小・中学校でのLGBTQの理解に関する教育の取組の現状は。

**答** 制服選択の自由、髪型、職員トイレや多目的トイレの利用等、当事者である児童生徒や保護者と話し合いをしながら対応することとしている。

**問** 児童生徒と保護者のLGBTQに関する相談先が必要と考えるが。

**答** どの教員にも相談できる体制と、各校に配置しているスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、不登校相談員等と情報共有し、予防的かつ早期の対応を図る。



## 問 赤井地区保育施設の統合に課題は

答 保育の質や運営に課題はない



阿部 秀太 議員

1件目

**問** 令和9年4月に公立の保育園（赤井北と赤井南）を廃止し、タイケン福祉会が運営するウェルネス保育園赤井が新たに188人規模の認定こども園になるが、事業者の選定経過は。

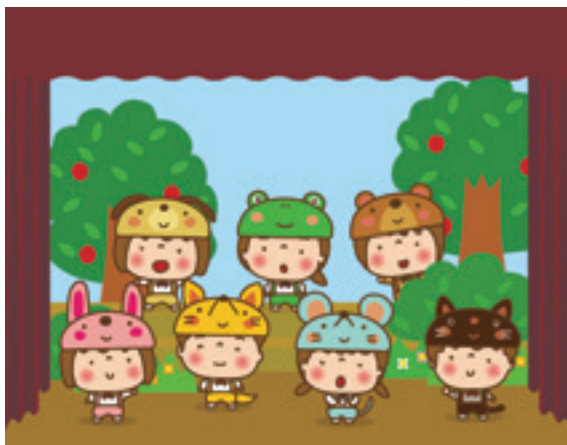
**答** ①開園目標年月に向けて公募での施設整備が時間的に難しいこと②愛育会は保育園を拡大する予定はないこと③タイケン福祉会は事業拡大に前向きであったこと。

**問** 規模が大きく、様々な課題が想定されるが。

**答** タイケン福祉会の運営実績や事前協議から、保育の質や運営リスク等に問題はない。

**問** ウェルネス保育園は

- 1件目 保育所の民営化について
- 2件目 人口減少社会における「選ばれるまち」の住宅地整備について
- 3件目 まちづくりの施策について



▲イベントでも子どもは成長するという

行事が少なく、行事への参加を求める保護者もいる。大規模1施設よりも2施設にした方が良いのではないか。

**答** 複数園にすれば、市の負担が増え、将来の統廃合を考えると、保育施設の数を増やすべきではない。また、行事への参加は忙しくて困るという保護者もいる。行事を望むのであれば、他の園を

選ぶことも可能。

2件目

**問** 住宅地整備について、上山市の「公園住宅」のように、行政が理念を示してエリア価値を形成する考えはないか。

**答** 上山市は参考になるが、本市の矢本・大曲・赤井・小松では過疎傾向は使えず、本市の都市政策理念に沿って民間事業者による整備を推進する。



## 問 市の諸問題について問う

答 広域的見地から判断し対処する



五野井敏夫 議員

1件目

問 緊急銃猟制度が9月1日より可能となったが対応はいかに。

答 市長が必要と判断した場合は、宮城県猟友会石巻支部に要請する。

問 ガバメントハンターの養成や退職自衛官及び警察官への第一種銃猟免許取得の補助金制度を創

設し、有資格を確保養成しては。

答 養成事業等は、有害獣駆除の知識や技術取得に数年の経験を要するため行わず、宮城県に対し、ガバメントハンターの配置を要望していく。

問 12月9日に専決処分したクマ対策費は500万円で十分な対応が出来るのか。

答 現時点では、予算措置できていない。不足の場合は補正予算で対応する。

問 クマ対策地域の中小

- 1件目 クマ対策について  
2件目 市街化区域拡大に伴う諸問題について



▲クマとの遭遇に備えてのクマよけグッズの一部



## 問 高市首相と女性活躍推進について

答 女性活躍推進の取組を進める



櫻井 政文 議員

1件目

10月21日に高市早苗氏は、憲政史上初の女性首相に就任した。高市首相の女性リーダーとしてのその働く姿勢と覚悟は働く女性の多くが共感を示している。そこで、今が女性活躍推進のタイミングと捉え、以下の見解を伺う。

問 本市のこれまでの女性活躍の推進の取組と現状、女性管理職と各種審議会の女性委員の登用率及び女性の創業支援の強化について。

答 内閣府の女性活躍推進交付金を活用した事業実施等、国及び県事業とも連携した取組を進めている。女性管理職の登用率は、5.5%、各種審

- 1件目 高市首相と女性活躍推進について  
2件目 災害時の独居老人等の対応を問う  
3件目 重点支援地方交付金について



▲女性活躍推進の取組の加速を！

議会女性委員は31.1%であり、今後も人材発掘や人材育成を進めていく。創業に関心を持っている女性向けセミナー「なでしこ開成塾」や交流会の開催、「個別支援事業」を実施している。

2件目

問 災害時の独居老人等の対応を問う。

答 防災無線やメールでの周知方法や自主避難者対応マニュアルの作成、

また、災害時避難行動要支援者情報登録名簿に基づいて対応していく。

3件目

問 重点支援地方交付金について

答 3割増商品券の発行や子ども1人当たり2万円に加えて5千円の上乗せ支給、水道料金の減免等実施していく方針である。事業者向け支援は政策効果を考慮しながら検討する。





## 東松島市議会議員の報酬が変わります

令和7年11月に開催された東松島市特別職報酬等審議会において、「市議会議員の報酬について、宮城県内自治体の報酬と比較し、著しく低い額であることから、議員報酬の増額改定及び期末手当の役職加算率を引き上げることが妥当」との意見があったことから、令和8年1月からの議員報酬について、市議会議長は月額2万6千円増、副議長は月額1万7千円増、議員は月額1万6千円増とし、期末手当の役職加算率については、15パーセントから20パーセントとする「議案第60号 東松島市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例について」が提案され、全会一致で可決されました。

	令和7年12月報酬まで	令和8年1月報酬から
議長	422,000円	448,000円
副議長	372,000円	389,000円
議員	348,000円	364,000円

### 議会活動

## 市と市議会が合同で要望を行いました 宮城県保健福祉部所管事項に関する要望会

令和7年10月24日に宮城県保健福祉部所管事項に関する要望書を宮城県に提出しました。

社会福祉施設の老朽化に伴う建て替えについて、インクルーシブ活動事業を実施する障害児施設への補助金の創設、児童屋内遊戯施設整備及び運営費用に係る宮城県独自の財政支援策の創設、小児科医療体制確保に対する市町村負担軽減策の創設等、課題解決に向け現地調査を行い、具体的な対応を提案しました。



▲インクルーシブ活動事業を実施する障害児施設

## 防衛省、農林水産省、総務省への要望

令和7年12月3日に防衛省、農林水産省、総務省への要望活動を行いました。

防衛省へ令和8年度特定防衛施設周辺整備調整交付金の額の増額に関する要望、農林水産省へほ場整備事業の推進と予算確保及び吉田川流域における流域治水対策としての国営総合農地防災事業の早期着手に関する要望、総務省へ令和8年度国有提供施設等所在市町村助成交付金の額の増額に関する要望活動を行いました。



▲宮崎防衛副大臣へ要望書を提出しました

## 松桜会 会派視察

会派松桜会は、令和7年7月8日から7月10日の日程で視察研修を実施した。

視察先は東京都国分寺市、東京都大田区、東京都台東区、「日本の食品EXPO」展示会場であった。以下、視察研修内容を要約して報告する。国分寺市では、重層的支援体制整備事業について調査研究を行なった。

この事業を実施するにあたって留意すべき点は、交付金の取りまとめ、地域福祉計画との整合性が重要であり、また、事業の推進には、首長のリーダーシップが欠かせないと強調していた。

地域共生社会実現のために、福祉だけではない視点も取り入れ、多くの人たちが関わっていけるようにしながら、複雑化・複合化した地域生活課題を担当所管課横断的に情報共有することが肝要であることを学んだ。

大田区若者サポートセンター「フラットおおた」では、若者支援プログラムの内容や相談内容、居場所プログラムの取組について研究した。様々な困難を抱える15歳から39歳までの年代の多様な悩みについて、キャリアコンサル

タントや社会福祉士などの職をもつ相談員が懇切丁寧に相談のついでにとのことである。居場所プログラムについては、地域イベントへの参加、部活動の展開、旅する茶話会等、孤立を防ぐ取組を実施している。大田区のこの取組は、不登校や障がい者及びひきこもり問題改善の糸口になるのではと感じた。

台東区では「食品ロス削減推進の取組について」を調査研究した。食品ロス削減のため、区民への様々な啓発活動を実施し、フードドライブについては、常設窓口を区役所に設置している。また、区役所内に、食品ロス削減無人販売機「fuboo（フーボ）」を導入するというユニークな取組も行っている。

「日本の食品輸出EXPO」展示会では、農産物・水産物から、飲料、調味料・加工品まで、日本の各地方・地域の世界に誇れる食品が一堂に出展し、食のトレンドを知ることができた。出展社は海外を視野に入れた食品開発や販路開拓を行なっている訳だが、このような企業が本市からも出現してほしいと期待する。

## 自民党新清風会 会派視察

今回の視察は自公市民の会及び熟議の会と合同で埼玉県川越市、東松山市及び茨城県東海村において、「議会ハラスメント根絶条例」及び「DX推進業務及びBPRによる業務量削減効果を図る検証とその効果について」に関する視察する計画であった。初日の移動途中でカムチャツカ地震が発生し交通手段であった仙石線が止まってしまい、代替の移動手段等の確保に時間を要するため、時間内に川越市役所への来庁が叶わないことから、資料送付を依頼し、その後に質問形式で対応して頂くことで調整した。

### 埼玉県東松山市

「人口減少の現状及び対策について」「第2期東松山市まち・ひと・仕事創生総合戦略の概要と結果及び今後の取り組みについて」

・計画的に企業誘致を積極的に行っており、また、宅地開発により定住化を推進することとは、本市にとっても人口減少対策に必要である。

・子育て支援の「リフレッシユチケット」は育児負担軽減に有効であり、本市において

も導入することは子育てしやすい環境整備拡充につながり、人口減少対策になりうると感じた。

### 茨城県東海村

「DX推進業務及びBPRによる業務量削減効果を図る検証とその効果について」

東海村議会がタブレット端末を導入したのは、令和2年の定例会からデジタルを活用した議会運営への転換の一環で、これにより、印刷にかかるコストや手間を削減し、議会運営の効率化を図った。導入当初はペーパーとタブレットを併用していたが、議会での勉強会も行いながら、議法定例会3回ほどで、タブレットに全面移行した。本市議会でも早期のタブレット導入は必要である。

東海村BPRは、時間外勤務の短縮、休暇取得などの働き方改革にもつながり、単にデジタル技術を導入することではなく、デジタルを手段として、以下のような「新しい役場」への変革（トランスフォーメーション）を推進していた。



# 自公・市民の会 会派視察

栃木県視察報告…次世代へつ  
なぐ、まちの未来と教育の力  
タチ

今回の視察では、栃木県内の先進事例を通じ「次世代の担い手をどう育てるか」をテーマに調査を行った。

## 1. 政治を身近に！足利市の「出張がい」

足利市では、市議会議員が中学校を訪れる出前授業を実施している。単に説明を聞くだけでなく、生徒たちが「市長役」と「議員役」に分かれて、まちのルールを決める体験ワークショップを行っているのが特徴である。単なる知識の伝達ではなく、合意形成の難しさや楽しさを体感させることで、生徒からは「議員は怖そうだったけれど、優しくて身近に感じた」「自分たちの声が市政に届く仕組みがわかった」と好評を得ている。若者の声を市政に反映させるためには、まず議会に関心を持つてもらうことが不可欠であり、本市においても導入を検討すべき好例であり、「開かれた議会」に向けたヒントが多くあった。

## 2. 地域で支える！矢板市の「部活動改革」

教員の働き方改革や少子化が進む中、矢板市では部活動を学校単位から「地域クラブ」へと移行する先進的な取組を行っている。特筆すべきは、行政が一方的に進めるのではなく、保護者や生徒へのアンケートを徹底し、現場の声を大切にしながらか進めている点である。総合型スポーツクラブとの連携や、地域の指導者の活用など、地域全体で子どもたちの活動を支える仕組みづくりは、本市が直面している部活動のあり方を考える上で、非常に重要な先行事例となった。

## 3. 視察を終えて

このほか、さくら市の道の駅「きつれがわ」や宇都宮市の次世代型路面電車（LRT）なども視察し、活気あるまちづくりの現場を体感した。今回の視察で得た「住民に寄り添う姿勢」と「地域で支え合う仕組み」を本市の政策に活かし、市民の皆様が安心して誇りを持って暮らせるまちづくりに邁進していく。

# 熟議の会 会派視察

埼玉県杉戸町「東武動物公園駅東口通り線まちづくり構想について」

杉戸町では川辺や空き家・空き地を活用して、まちづくり・にぎわいづくりに成功している。

担当の「市街地整備推進室」は「自分たちにできるまちづくりとは何か」を原点から再考し、①「スカスカのまち」余白」ととらえ、その価値を再発見する②市民の「やりたいこと」×地域に良いこと」をつなげる、を官民が共にまちを育てる方向性として共有している。

そのスタンスは、①町職員自ら「まちを一緒に遊んで育てる」等身大の姿勢②「やってみてから考える」柔軟な運営③「主役がいなくちゃはじまらない」主体的に動く人づくりであり、地域に前向きな雰囲気醸成されている。

〈所感〉

市民、職員ともにかく元氣である。それは、集いの店舗で「やりたい」を実現し、その笑顔からも見てとれた。スモールビジネス講座を10年以上続け、卒業生を250人ほど輩出していることが基盤となっており。また、市民が空き店舗などを借りる際、町

職員が一緒に動いている姿は、これからの官民連携の可能性を感じ、良い示唆を得られた。

## 茨城県牛久市「幼保小連携の取組について」

牛久市では、教育委員会への一元化のもと、架け橋期コイディネーター等を配置し、幼児期から児童期への学びの連続性を重視した体制が構築されている。幼保小合同会議や相互参観、大学と連携した研修を通じ、現場の相互理解と理論的裏付けのあるカリキュラム開発が進められていた。

〈所感〉

長年の積み重ねにより、幼保小の「接続」を超えた「融合」に近づいており、教育施策を制度として根付かせる重要性を再認識した。

## ふじみ野市「学校給食への取組について」

国産・無添加食材や手作り調理を基本とし、学校ファームなど食育と地域農業を結び付けた取組が行われていた。

〈所感〉

安全・安心な給食を軸に、食育を地域づくりへと広げる姿勢は参考となるものであった。

# 議会運営および活動状況

- 令和7年
- 9月 9日 民生教育常任委員会  
15日 仙台フィルハーモニー管弦楽団ピアノ五重奏アンサンブルコンサート  
19日 秋の交通安全運動出動式  
21日 第24回港湾感謝祭  
27日 友好都市スポーツ交流大会、宮城県みどりの少年団大会  
28日 国道108号石巻河南道路事業起工式  
29日 三陸沿岸道路東松島・山田間機能強化連絡協議会総会  
30日 議会運営委員会
- 10月 1日 大規模地震時における避難施設等応急危険度判定に関する協定締結式  
4日 市長杯争奪北日本スーパー古希軟式野球大会、矢本はなぶさ幼稚園運動会、7周年オルレ記念イベント、牛網保育所運動会  
5日 みやぎ2025第48回全国育樹祭、矢本東地区民まつり、のびる秋まつり  
5日 奥松島コース6周年記念オルレ  
6日 矢本東地区民まつり、市長杯ビーチテニス大会、のびる秋まつり、港湾感謝祭  
7日 基地対策特別委員会 松島基地視察、総務産業建設常任委員会  
8日 広報常任委員会  
10日 議員全員協議会、議員全員説明会、人口減少対策特別委員会  
11日 奥松島周遊ぐるっと号出発式  
12日 若鷹旗争奪少年野球大会開会式、第12回石巻地区少年剣道錬成大会  
13日 東松島市長杯男子ソフトボール大会  
14日 熊本県産山村経済建設常任委員会視察来庁  
15日～16日 東北議長会事務局職員研修会  
16日 大分県宇佐市総務常任委員会視察来庁  
17日 「森と海を結ぶ・絆の森林づくりプロジェクト」植樹祭・育樹祭  
18日 ひがしまつしま市民俗文化祭開会セレモニー  
19日 矢本西地区の日「エンジョイウエスト」、東松島ライオンズ旗争奪U-10フットサル大会  
20日 宮城県市議会議長会総会、民生教育常任委員会  
21日 2市1町特別職・管理職員等研修会  
24日 宮城県保健福祉部所管事項に関する要望会
- 26日 オール赤井まつり  
27日 民生教育常任委員会行政視察(宮城県岩沼市)  
28日 宮城県議会・市町村議会セミナー、東松島市商工会との懇談会、議会運営委員会  
29日 東松島市地域福祉推進大会  
30日 三陸沿岸道路東松島・山田間機能強化連絡協議会要望
- 11月 1日 小野地域ふるさと愛あいまつり、OTAふれあいフェスタ  
3日 議員全員協議会  
4日 三陸沿岸道路東松島・山田間機能強化連絡協議会要望  
6日 全国市議会議長会基地協議会東北部会総会  
7日 全国市議会議長会基地協議会東北部会視察、東松島高校創立20周年記念式典  
8日 松島基地ランウェイライド2025開会式  
9日 第5回東松島市産業祭  
11日 東松島市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携協定締結式、三陸沿岸道路東松島・山田間機能強化連絡協議会中央要望  
12日～14日 民生教育常任委員会行政視察(大阪府池田市、大阪府八尾市、大阪府守口市)  
13日 東北市議会議長会事務局長会議  
17日 全国過疎地域連盟総会  
18日 竹乃浦 飛翔閣「東松島別館」新規開店オープニングレセプション  
19日 議員全員協議会、宮城県議長会議員研修会  
20日 議会運営委員会  
22日 東北コットンフェスティバル2025  
23日 東松島市政功労者表彰式  
24日 東松島クロスコントリー大会  
26日 民生委員児童委員任期満了に伴う退任委員慰労会  
27日 道の駅「東松島」1周年記念式典  
28日 議員全員説明会、会派代表者会議  
29日 ～ひがしまつしま寄席～芸術文化振興事業
- 12月 3日 東松島市・市議会合同中央要望  
4日 総務産業建設常任委員会  
5日 航空自衛隊松島基地餅つき、議会運営委員会  
7日 ヤックンカップ争奪家庭バレーボール大会、わんぱく探検アグリスクール閉校式、あいおい農園収穫祭

次回の定例会は  
**2月10日(火)～**

午前10時開会

会期日程は  
こちら！



東松島市議会  
**Facebook 情報発信中！**



いいね！して  
フォローをお願いします！



編集後記

あけまして、おめでとうございます。  
今号の市議会だよりをお手にとっていただき、ありがとうございます。  
今号では定例会での一般質問と、各会派による視察報告、要望会、補正予算等についてお伝えしました。

議会であわされる一つの議論の先には、市民の皆様の日々の暮らしがあり、市民の皆様の声を市政に反映させることが議会の大切な役割です。身近な視点を大切に、これからの市民の皆様の声を届けてまいりますので、ご意見・ご感想をお待ちしております。  
(熱海 千鶴)

広報常任委員会

委員長 齋藤 秀太  
副委員長 阿部 千鶴  
委員 熱海 方博  
委員 井出 明  
委員 大橋 博  
委員 長谷川 博

議会だよりをお読みいただいた感想やご意見を、ぜひお聞かせ下さい。

●アドレス  
h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp

